

名古屋市感染症発生動向調査情報

2019年第27週(7月1日~7月7日)

名古屋市感染症情報センター(名古屋市衛生研究所疫学情報部)2019年(令和元年)7月10日作成

<http://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/15-7-3-3-0-0-0-0-0-0.html>

◆本市の状況

〔トピックス：手足口病〕

- 手足口病の患者報告数が大幅に増加しており、本市における第27週(7月1日~7月7日)の定点当たり患者報告数は5.53人で、国立感染症研究所が定める警報の基準値「5」を上回っています。過去10年の同時期(第27週)との比較では最多となっています。
- 手足口病はウイルスの感染により起こる感染症で、乳幼児を中心に主に夏季に流行します。
- 症状は、手のひらや足の裏、口の中などに水疱性の発疹が現れ、発熱を伴う場合もあります。発疹は、時に肘、膝、臀部などにも出現することもあります。
- ごく稀に髄膜炎や脳炎などを生じることがあるので、高熱や嘔吐、頭痛などがみられた場合は注意が必要です。
- 感染経路は、飛沫感染、接触感染、経口感染で、乳幼児が集団生活をしている保育施設や幼稚園などでは、手洗い、排泄物の適切な処理を行うことが感染予防に大切です。

〔麻疹〕

- 本市における第27週(7月1日~7月7日)の麻疹の患者報告数は0人で、2019年にはこれまでに9人の麻疹患者が報告されています。また、全国の麻疹の累計患者報告数は644人(第26週まで)になり、昨年を上回っています。
- 麻疹は空気感染をし、その感染力は非常に強いと言われており、感染期間は発症1日前から解熱後3日後とされています。
- 予防はワクチン接種で、MRワクチンの定期予防接種が1歳(第1期)と小学校入学前年度(第2期)に行われています。

〔風しん〕

- 本市における第27週(7月1日~7月7日)の風しんの患者報告数は0人で、2019年にはこれまでに18人の風しん患者が報告されています。また、全国の風しんの累計患者報告数1896人(第26週まで)になりました。
- 風しん患者の中心は30代から50代の男性であることから、2022年3月31日までの間に限り、風しんに係る公的接種を受ける機会がなかった昭和37年4月2日から昭和54年4月1日までの間に生まれた男性を対象に、風しんの第5期の定期接種を行うこと

となりました。

- 詳しい実施方法については、市公式ウェブサイト
(<http://www.city.nagoya.jp/kenkofukushi/page/0000087308.html>) 等をご覧ください。

〔定点把握感染症の発生動向〕

- 手足口病の定点当たり患者報告数は、前週の 3.3 人から 5.5 人に増加しました。過去 3 年の同一週の平均との比較では 4.7 倍多い報告数になりました。
- インフルエンザの定点当たり患者報告数は、前週の 0.04 人から 0.2 人に増加しました。過去 3 年の同一週の平均との比較では 5.0 倍多い報告数になりました。
- ヘルパンギーナの定点当たり患者報告数は、前週の 1.0 人から 1.5 人に増加しました。
- 咽頭結膜熱の定点当たり患者報告数は、前週の 0.4 人から 0.5 人に増加しました。

〔1 類～5 類全数把握感染症の届出〕

診断週	感染症の分類	疾患	発生数	発生の概要
2019 年 第 27 週	2 類	結核	7	• 男性、83 歳、肺結核 • 男性、77 歳、肺結核 • 女性、34 歳、肺結核 • 女性、32 歳、肺結核 • 男性、84 歳、肺結核 • 男性、74 歳、肺結核 • 男性、91 歳、肺結核
2019 年 第 27 週	3 類	腸管出血性大腸菌 感染症	1	• 女性、24 歳、感染地域：タイ／ベトナム ／カンボジア、血清型・毒性型：O157 VT1・VT2
2019 年 第 27 週	4 類	デング熱	1	• 男性、21 歳、感染地域：タイ
2019 年 第 27 週	5 類	アメーバ赤痢	1	• 男性、37 歳、腸管及び腸管外アメーバ症、 感染原因：性的接触（同性間）、感染地域：名 古屋市
2019 年 第 27 週	5 類	ウイルス性肝炎	1	• 男性、37 歳、B 型、感染経路：性的接触 （異性間・同性間不明）

2019年 第27週	5類	カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感 染症	1	<ul style="list-style-type: none"> • 男性、64歳、菌検出検体：尿、菌種：<i>K. aerogenes</i>、感染原因：以前からの保菌
2019年 第27週	5類	急性脳炎	2	<ul style="list-style-type: none"> • 男性、1歳、病原体不明 • 男性、9歳、病原体不明
2019年 第27週	5類	梅毒	5	<ul style="list-style-type: none"> • 女性、29歳、早期顕症梅毒（1期） • 女性、21歳、早期顕症梅毒（2期） • 女性、47歳、早期顕症梅毒（2期） • 男性、49歳、早期顕症梅毒（2期） • 男性、42歳、無症状病原体保有者
2019年 第27週	5類	百日咳	9	<ul style="list-style-type: none"> • 男性、11歳、検査方法：検体からの病原体遺伝子の検出、感染地域：名古屋市 • 女性、10歳、検査方法：抗体の検出、感染地域：名古屋市 • 男性、6歳、検査方法：検体からの病原体遺伝子の検出、感染地域：名古屋市 • 女性、11歳、検査方法：検体からの病原体遺伝子の検出、感染地域：名古屋市 • 女性、7歳、検査方法：抗体の検出、感染地域：名古屋市 • 女性、11歳、検査方法：検体からの病原体遺伝子の検出、感染地域：名古屋市 • 男性、35歳、検査方法：抗体の検出、感染地域：名古屋市 • 男性、5歳、検査方法：検体からの病原体遺伝子の検出、感染地域：名古屋市 • 女性、42歳、検査方法：検体からの病原体遺伝子の検出、感染地域：名古屋市

※ 感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを表示。

（報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります）

報告日が遅れたため先週号までに掲載されなかった1類から5類全数報告感染症。
報告はありませんでした。

〔2019年1類～5類全数把握感染症の届出報告数の累計〕

感染症の分類	疾患	累計
1類感染症	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、他	0
2類感染症	急性灰白髄炎	0
2類感染症	結核（潜在性結核感染症を含む）	297(83)[1] 〔0〕【1】
2類感染症	ジフテリア	0
2類感染症	重症急性呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属 SARS コロナウイルスであるものに限る)	0
2類感染症	中東呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属 MERS コ ロナウイルスであるものに限る）	0
2類感染症	鳥インフルエンザ（H5N1）	0
2類感染症	鳥インフルエンザ（H7N9）	0
3類感染症	コレラ	0
3類感染症	細菌性赤痢	3
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	14(2)
3類感染症	腸チフス	0
3類感染症	パラチフス	1
4類感染症	E型肝炎	1
4類感染症	A型肝炎	2
4類感染症	デング熱	3
4類感染症	レジオネラ症	19
5類感染症	アメーバ赤痢	10
5類感染症	ウイルス性肝炎（E型肝炎及びA型肝炎を除く）	2
5類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	25【1】
5類感染症	急性弛緩性麻痺	2
5類感染症	急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、 東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー 熱を除く）	10【1】
5類感染症	クロイツフェルト・ヤコブ病	1
5類感染症	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	16【1】
5類感染症	後天性免疫不全症候群	34(29)
5類感染症	ジアルジア症	1
5類感染症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	9
5類感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	1

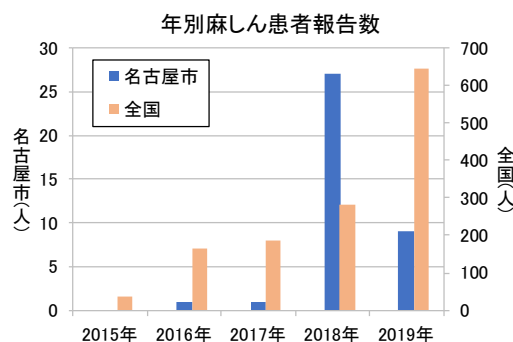
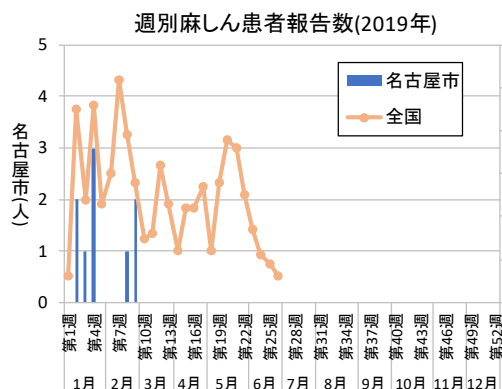
5 類感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	49【1】
5 類感染症	水痘（入院例に限る）	2
5 類感染症	梅毒	101（37）
5 類感染症	播種性クリプトコックス症	3
5 類感染症	百日咳	124
5 類感染症	風しん	18
5 類感染症	麻疹	9

累計は 2019 年第 1 週からの診断週による累計、（ ）内は無症状病原体保有者累計数を再掲、[]内は疑似症累計数を再掲、【 】内は感染症死亡者の死体累計数を再掲、〔 〕内は感染症死亡疑い者の死体累計数を再掲、〈 〉内は後天性免疫不全症候群の「その他」累計数を再掲。

対象疾患が多いため、4 類及び 5 類感染症は報告のあった疾患のみを掲載。

（報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります）

〔名古屋市の麻しん報告数：2019年7月10日作成〕



週別麻しん患者報告数(2019年)

名古屋市	第2週 (1/7~ 1/13)	第3週 (1/14~ 1/20)	第4週 (1/21~ 1/27)	第8週 (2/18~ 2/24)	第9週 (2/25~ 3/3)	第27週(7月7日)までの合計(人)
	2	1	3	1	2	9

表は患者報告のあった週のみ掲載し、報告が0人の週については省略

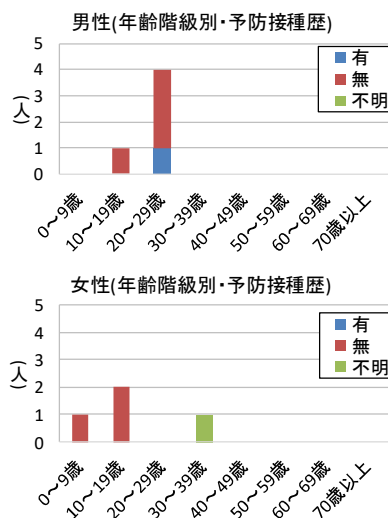
年別麻しん患者報告数

麻しん	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
名古屋市	75	11	6	19	5	1	20	0	1	1	27	9※1
愛知県	197	29	32	32	39	25	46	0	5	1	37	39※2
全国	11013	732	447	439	283	229	462	35	165	186	282	644※3

※1:第27週(7月7日)まで ※2:7月8日時点 ※3:第26週(6月30日)まで

麻しん患者の性別・年齢階級別・予防接種歴(2019年名古屋市)

	年齢階級	予防接種歴			総計(人)
		有	無	不明	
男性	0~9歳				0
	10~19歳			1	1
	20~29歳	1	3		4
	30~39歳				0
	40~49歳				0
	50~59歳				0
	60~69歳				0
	70歳以上				0
計(人)	1	4	0	5	
女性	0~9歳		1		1
	10~19歳		2		2
	20~29歳				0
	30~39歳			1	1
	40~49歳				0
	50~59歳				0
	60~69歳				0
	70歳以上				0
計(人)	0	3	1	4	
総計(人)		1	7	1	9

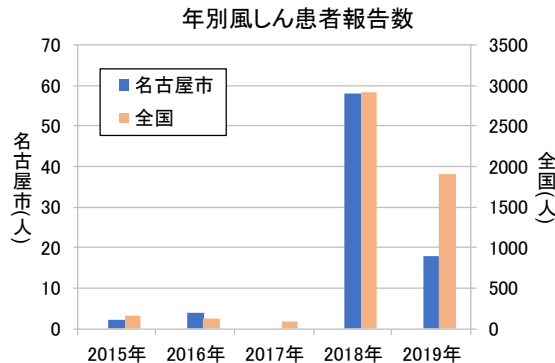
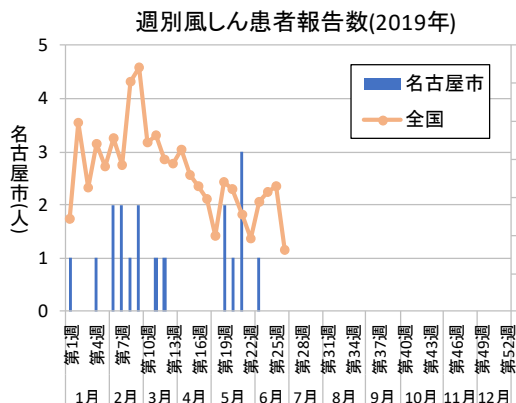


麻しん患者情報(2019年名古屋市)

No.	診断年月日	年齢	性別	予防接種歴	渡航歴	推定感染地域
1	2019.1.8	7歳	女	無	不明	不明
2	2019.1.10	20歳代	男	無	無	国内(三重県)
3	2019.1.19	20歳代	男	無	無	国内(愛知県)
4	2019.1.21	10歳代	女	無	有	フィリピン
5	2019.1.22	10歳代	女	無	有	フィリピン
6	2019.1.25	20歳代	男	有	無	国内(三重県、愛知県)
7	2019.2.20	10歳代	男	無	無	国内(愛知県)
8	2019.3.1	20歳代	男	無	無	国内(愛知県)
9	2019.3.2	30歳代	女	不明	無	国内(愛知県)

(報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります)

[名古屋市の風しん報告数：2019年7月10日作成]



週別風しん患者報告数(2019年)

名古屋市	第1週 (12/31～ 1/6)	第4週 (1/21～ 1/27)	第6週 (2/4～ 2/10)	第7週 (2/11～ 2/17)	第8週 (2/18～ 2/24)	第9週 (2/25～ 3/3)	第11週 (3/11～ 3/17)	第12週 (3/18～ 3/24)	第27週(7月7日)まで の合計(人)
	1	1	2	2	1	2	1	1	
	第19週 (5/6～ 5/12)	第20週 (5/13～ 5/19)	第21週 (5/20～ 5/26)	第23週 (6/3～ 6/9)					
	2	1	3	1					

表は患者報告のあった週のみ掲載し、報告が0人の週については省略

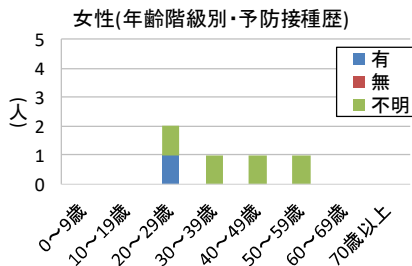
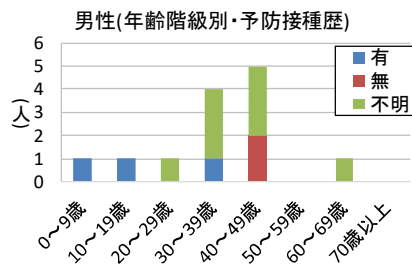
年別風しん患者報告数

風しん	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
名古屋市	1	1	0	7	38	191	7	2	4	0	58	18※1
愛知県	3	10	3	13	97	375	22	13	20	3	119	49※2
全国	303	147	87	378	2386	14344	319	163	126	91	2917	1896※3

※1:第27週(7月7日)まで ※2:7月8日時点 ※3:第26週(6月30日)まで

風しん患者の性別・年齢階級別・予防接種歴(2019年名古屋市)

		予防接種歴			総計(人)
		有	無	不明	
男性	0～9歳	1			1
	10～19歳	1			1
	20～29歳			1	1
	30～39歳	1		3	4
	40～49歳		2	3	5
	50～59歳				0
	60～69歳			1	1
	70歳以上				0
	計(人)	3	2	8	13
女性	0～9歳				0
	10～19歳				0
	20～29歳	1		1	2
	30～39歳			1	1
	40～49歳	1		1	2
	50～59歳			1	1
	60～69歳				0
	70歳以上				0
	計(人)	1	0	4	5
	総計(人)	4	2	12	18



風しん患者情報(2019年名古屋市)

No	診断年月日	年齢	性別	予防接種歴	渡航歴	推定感染地域
1	2019.1.4	40歳代	男	不明	無	国内(静岡県)
2	2019.1.21	60歳代	男	不明	無	国内(愛知県)
3	2019.2.8	30歳代	男	不明	無	不明
4	2019.2.9	20歳代	女	不明	無	不明
5	2019.2.12	40歳代	男	不明	無	国内(愛知県、東京都)
6	2019.2.15	40歳代	男	不明	無	国内(愛知県)
7	2019.2.23	40歳代	女	不明	無	国内(愛知県、大阪府)
8	2019.3.1	30歳代	男	不明	無	不明
9	2019.3.2	30歳代	男	有	無	国内(大阪府)
10	2019.3.11	40歳代	男	無	無	国内(愛知県、岐阜県)
11	2019.3.18	40歳代	男	無	有	国内(愛知県、兵庫県、大阪府)、オーストラリア
12	2019.5.6	20歳代	女	有	無	国内(愛知県)
13	2019.5.10	30歳代	男	不明	無	国内(愛知県)
14	2019.5.17	30歳代	女	不明	無	国内(愛知県)
15	2019.5.20	20歳代	男	不明	無	国内(東京都、愛知県、大阪府)
16	2019.5.23	1歳	男	有	無	国内(愛知県)
17	2019.5.25	10歳代	男	有	無	不明
18	2019.6.4	50歳代	女	不明	無	国内(愛知県)

(報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります)

〔愛知県麻しん・風しん患者調査事業について〕

平成 20 年 1 月 1 日から、麻しん・風しんは全数把握対象疾患となりましたが、愛知県内では、感染症法に基づく届出では把握できない情報を得るため、医師会と協力して「愛知県麻しん・風しん患者調査事業」を実施しており、名古屋市も参加しています。調査結果については下記のリンク先(愛知県衛生研究所ホームページの中のコンテンツ <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/msl/msl.html>)をご覧ください。

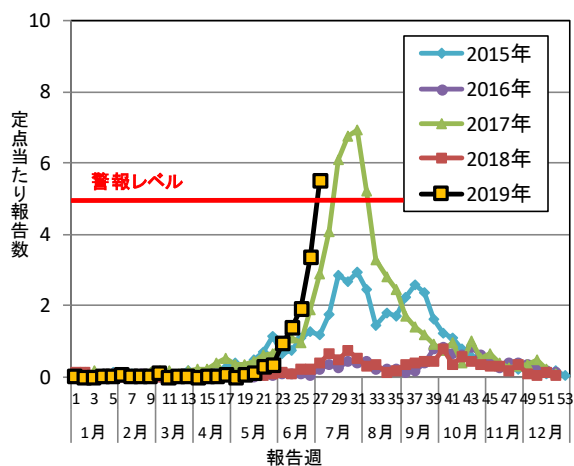
〔定点医療機関からの情報〕

定点医療機関からは検査結果や患者発生状況等がコメント情報として報告されています。定点医療機関から報告されたコメント情報は下記のとおりです。なお、コメント情報のなかった定点医療機関については掲載しておりません。

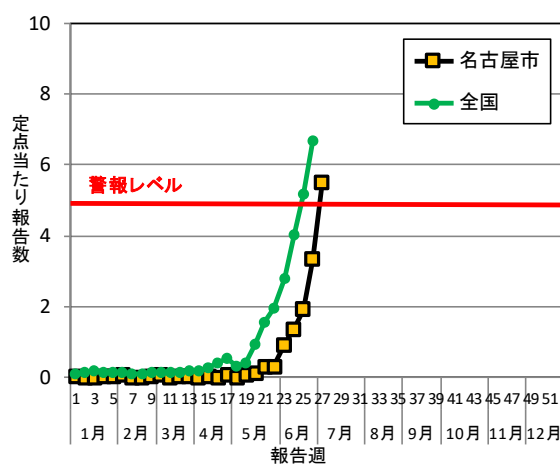
アデノウィルス咽頭炎：3 歳男児	定点医療機関(千種区)
インフルエンザ A 型 2 名、B 型 1 名	定点医療機関(西区)
インフルエンザ A 型 1 名	定点医療機関(中村区)
インフルエンザ B 型 1 名	定点医療機関(中村区)

〔名古屋市の手足口病患者報告数の推移：2019年7月10日作成〕

手足口病患者報告数(名古屋市)



手足口病患者報告数(2019年)



※名古屋市は2019年第27週、全国は2019年第26週までの報告数

定点当たり患者報告数(2019年)

	第23週 (6/3～ 6/9)	第24週 (6/10～ 6/16)	第25週 (6/17～ 6/23)	第26週 (6/24～ 6/30)	第27週 (7/1～ 7/7)
名古屋市	0.93	1.37	1.93	3.34	5.53
愛知県	0.92	1.60	3.14	5.21	—
全国	2.79	4.03	5.18	6.70	—

※報告数は各週公表時における速報値

※愛知県では警戒の指標である定点当たり報告患者数「5」を超えたことから、7月4日に手足口病警戒が発令されました。

◆2019年第27週 患者報告数(疾病区別)、定点あたり患者報告数(疾病区別)、年齢階層別患者報告数(疾病別)

患者報告数(名古屋市)

2019年第27週(2019年7月1日~7月7日)

疾患 \ 区	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	計	前週比	過去比*
★インフルエンザ		1	2	8	2			2									15	5.0	5.0
○RSウイルス感染症	1						1						1				3	0.3	0.4
○咽頭結膜熱	5	1	5	7	1				1	1		4	2		3	2	32	1.2	1.1
○A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	9	9	5	8	5	2	1			5	1	6	16	5	5	2	79	1.0	0.9
○感染性胃腸炎	12	4	28	16	18	7	10			21	16	1	9	1	7	17	167	0.9	0.9
○水痘	1	4	1	1								1	3		1		12	0.8	0.6
○手足口病	55	13	32	91	5	8	1		8	23	4	17	36	20	43	31	387	1.7	4.7
○伝染性紅斑	9	3	2	9			1			1	1		2				30	0.9	4.1
○突発性発疹		1	1	3						2						2	9	0.6	0.4
○ヘルパンギーナ	20	8	2	11	3					21	2	4	6	1	16	9	103	1.5	1.2
○流行性耳下腺炎	1														2		3	0.6	0.5
△急性出血性結膜炎																	0		
△流行性角結膜炎							6										6	3.0	1.3
◇細菌性髄膜炎																	0		
◇無菌性髄膜炎																	0		
◇マイコプラズマ肺炎																	0		
◇クラミジア肺炎																	0		0.0
◇感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)																	0		
計	113	44	78	154	34	18	19	2	9	74	24	34	74	27	79	63	846		

*過去3年の同週の平均値との比

★インフルエンザ定点数	5	4	5	4	5	4	5	5	4	4	4	4	5	4	4	4	70		
○小児科定点数	5	4	5	4	5	4	5	5	4	4	4	4	5	4	4	4	70		
△眼科定点数	1		1	1	1		1	1	1			1		1	1	1	11		
◇基幹定点数			1				1			1							3		

★○△◇は定点種別を示す。

セルは、該当疾病の定点医療機関のない区を示す。

定点あたり患者報告数、および流行警報・注意報発生状況(名古屋市)

2019年第27週(2019年7月1日~7月7日)

疾患 \ 区	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	平均
インフルエンザ		0.3	0.4	2.0	0.4			0.4									0.2
RSウイルス感染症	0.2						0.2						0.3				0.0
咽頭結膜熱	1.0	0.3	1.0	1.8	0.2				0.3	0.3		1.0	0.4		0.8	0.5	0.5
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.8	2.3	1.0	2.0	1.0	0.5	0.2			1.3	0.3	1.5	3.2	1.3	1.3	0.5	1.1
感染性胃腸炎	2.4	1.0	5.6	4.0	3.6	1.8	2.0			5.3	4.0	0.3	1.8	0.3	1.8	4.3	2.4
水痘	0.2	1.0	0.2	0.3								0.3	0.6		0.3		0.2
手足口病	11.0	3.3	6.4	22.8	1.0	2.0	0.2		2.0	5.8	1.0	4.3	7.2	5.0	10.8	7.8	5.5
伝染性紅斑	1.8	0.8	0.4	2.3		0.3				0.3	0.3		0.4		0.5		0.4
突発性発疹		0.3	0.2	0.8						0.5						0.5	0.1
ヘルパンギーナ	4.0	2.0	0.4	2.8	0.6					5.3	0.5	1.0	1.2	0.3	4.0	2.3	1.5
流行性耳下腺炎	0.2														0.5		0.0
急性出血性結膜炎																	
流行性角結膜炎							6.0										0.5

警報対象疾患	流行発生警報		流行発生注意報
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

流行警報・注意報について

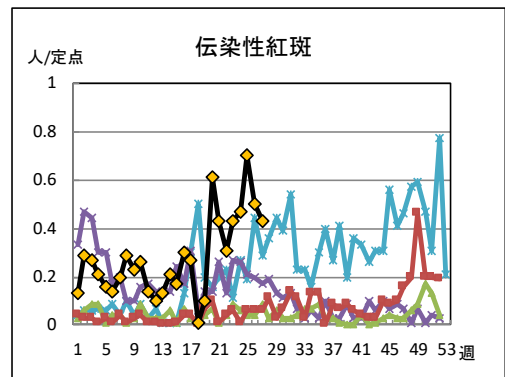
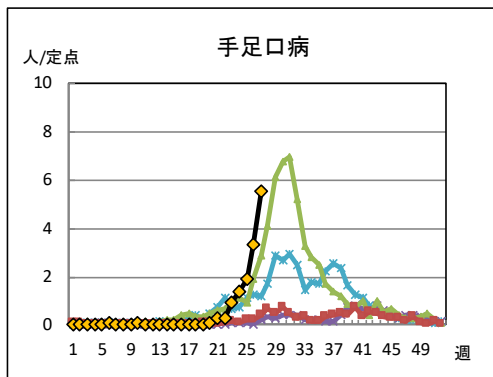
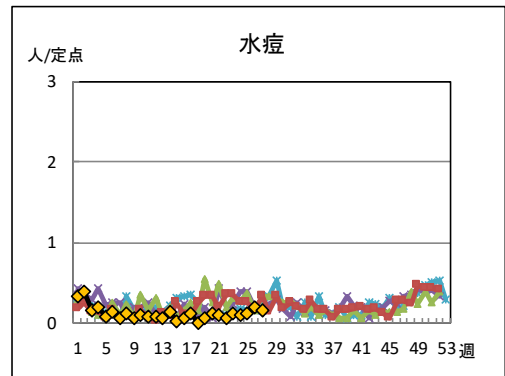
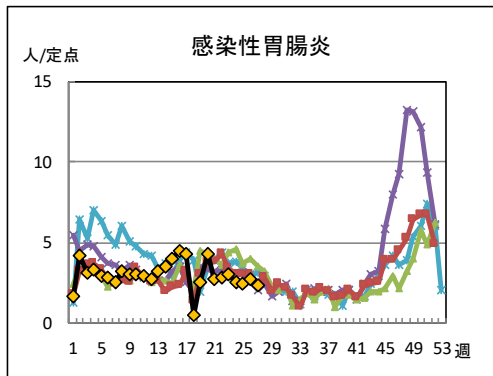
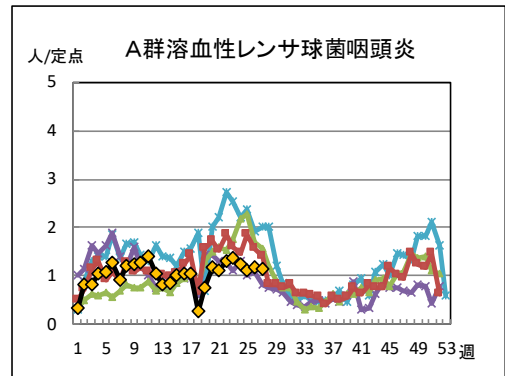
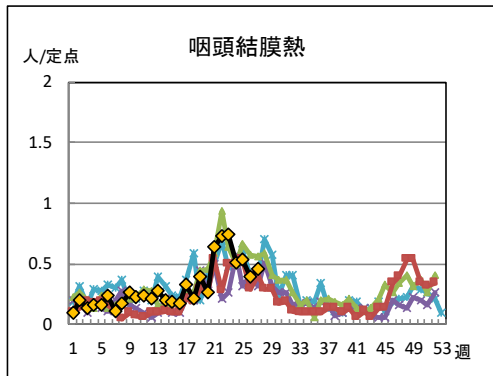
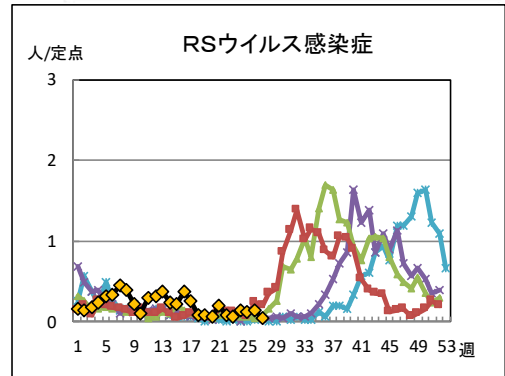
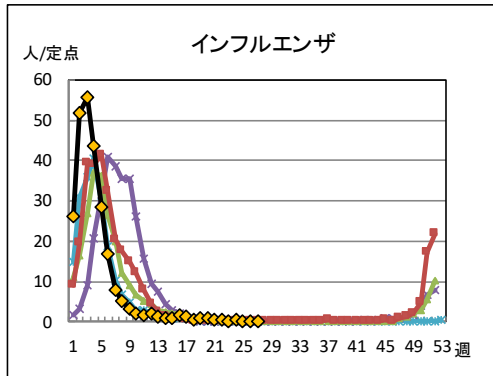
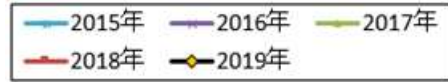
■ 太字の数字 は流行発生警報

■ 斜体の数字 は流行発生注意報

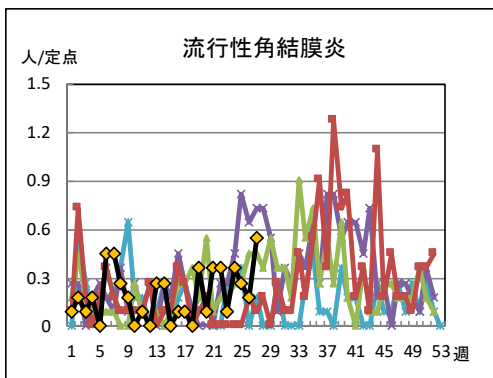
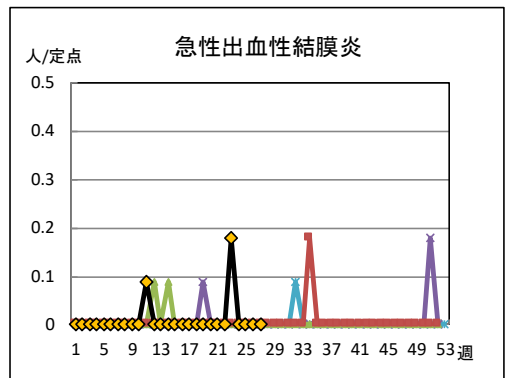
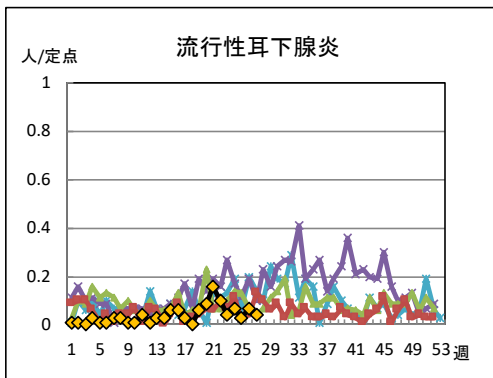
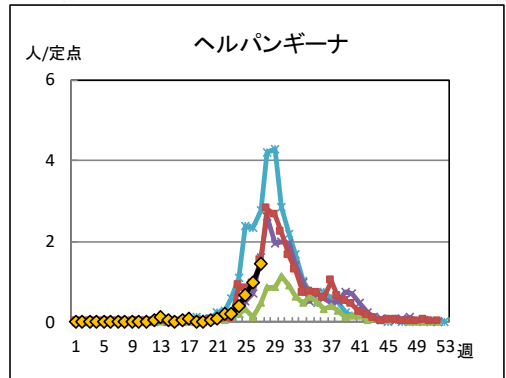
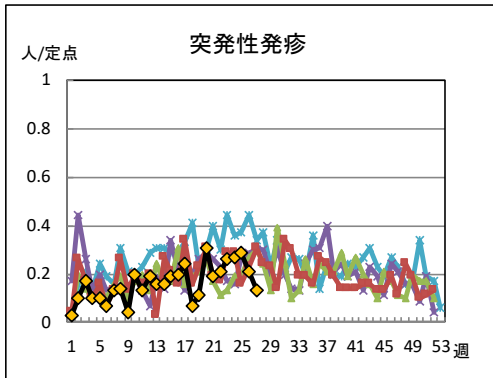
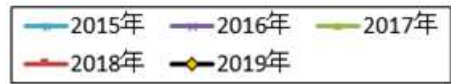
■ 警報及び注意報の発生は、厚生労働省の感染症発生動向調査における警報発生システムの基準値(左表)に準拠しています。なお基準値は、変更される場合や当センターの判断で、独自の設定に変更する場合があります。

■ この警報及び注意報は、感染症発生動向調査に関わる専門家の対案立案を支援するためのものです。詳しい目的、利用法等については当情報センターにご連絡ください。

◆小児科・インフルエンザ・眼科定点医療機関からの
 定点あたり患者報告数の推移グラフ(1) 2019年第27週まで



◆小児科・インフルエンザ・眼科定点医療機関からの
 定点あたり患者報告数の推移グラフ(2) 2019年第27週まで



◆ 基幹病院定点月報の集計結果〔2019年6月分〕

基幹定点数：3（西部医療センター(北)、名古屋第二赤十字病院(昭和)、名古屋掖済会病院(中川)）

表1.基幹定点報告、区別患者報告数(名古屋市)

2019年6月

疾患 / 区	北	昭和	中川	計
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	6			6
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		4		4
薬剤耐性緑膿菌感染症				0
計	6	4	0	10

表2.基幹定点報告、年齢階級別報告数(名古屋市)

2019年6月

疾患 / 年齢階級	0-9	10-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-89	90歳-	計
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1						2	1	2		6
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	4										4
薬剤耐性緑膿菌感染症											0
計	5	0	0	0	0	0	2	1	2	0	10

◆ 性感染症について〔性感染症定点把握、2019年6月分〕

性感染症定点数：15（泌尿器科系：8、産婦人科系：7）

報告された患者数を性別で見ると、男性では性器クラミジア感染症、淋菌感染症、尖圭コンジローマ、性器ヘルペスウイルス感染症の順に多く、女性では性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症の順に多く報告がありました。今月の性感染症の報告数は男性128人、女性は35人でした。（表2、図1参照）

2019年6月分を年齢階級別に見ると、男性の性器クラミジア感染症は20歳以上の全ての年齢階級で報告があり、性器ヘルペスウイルス感染症は20歳から34歳および45歳から54歳の年齢階級で報告がありました。尖圭コンジローマは20歳から24歳および30歳以上の年齢階級で報告があり、淋菌感染症は20歳から49歳および55歳以上の年齢階級で報告がありました。女性では性器クラミジア感染症は0歳から39歳および50歳から54歳の年齢階級で報告があり、性器ヘルペスウイルス感染症は20歳から44歳および50歳から54歳の年齢階級で報告がありました。尖圭コンジローマは20歳から24歳、30歳から34歳および40歳から44歳の年齢階級で報告があり、淋菌感染症は20歳から24歳の年齢階級で報告がありました（表2、図2参照）。

表1.性感染症区別患者報告数(名古屋市)

2019年6月

疾患 / 区	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	計
性器クラミジア感染症	1		21	1	6	23	13	1		13	4	2		5	3	2	95
性器ヘルペスウイルス感染症			2			3	1	1		2	3						4
尖圭コンジローマ			3			3	2			6					2	1	2
淋菌感染症	2		4		3	3	4			12					2	1	2
計	3		30	1	9	32	20	2		33	7	2		9	5	10	163

STD定点数	1		2	1	1	2	1	1		1	1	1		1	1	1	15
--------	---	--	---	---	---	---	---	---	--	---	---	---	--	---	---	---	----

のセルは、該当疾病の定点医療機関のない区を示す。

表2.性感染症年齢階級別患者報告数(名古屋市)

2019年6月

疾患 / 年齢階級	性別	0-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55歳-	計
性器クラミジア感染症	男性			21	22	6	8	5	5	2		71
	女性		1	4	11	1	4	2		1		24
性器ヘルペスウイルス感染症	男性			4	1	1			3	1		10
	女性			1	1	1	1	1		1		6
尖圭コンジローマ	男性			2		1	2	2	4	1	3	15
	女性			1			2	1				4
淋菌感染症	男性			9	4	2	7	2	5		3	32
	女性			1								1
計	男性			36	27	10	17	9	17	4	8	128
	女性		1	4	14	2	7	3	2		2	35

